

## 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	自然からの贈りもの「ジビエ」普及事業
事業主体 (連絡先)	美麻ジビエ振興会 (美麻商工会 TEL0261-29-2813 E-mail:miasasyo@zk9.so-net.ne.jp)
事業区分	(6) オその他地域の特色及び個性を活かした産業振興並びに雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	677,096 円 (うち支援金: 506,000 円)

### 事業内容

- ・ 罾管理用発信機・受信機の設置による捕獲管理  
 猟友会美麻支部会員は、高齢化が進み罾の見回りが大変になってきているため、罾に発信機を取り付け、受信機による見回りを実施し効果的な罾管理を行う。
- ・ 暗視カメラ設置による獣(特に鹿)の動向調査  
 カメラの設置により、罾設置場所での獣が撮れているか否かにより、罾の設置場所の移動が可能となり、鹿の捕獲頭数の増加を目指す。



【暗視カメラ設置】

### 事業効果

発信機(80台)と受信機(10台)の導入により、今まで1日1回の見回りが主流であったが、2、3回に増やすことができ、獣の早期解体処理が可能となり、管内廃棄処理頭数が29年度5頭であったが、本年度は11月現在で1頭のみと減少した。また、猟友会員が見回りが出来ないときは、当会会員等に受信機を渡し見回りを実施した。見回りの負担減と回数増により、効率的な罾管理ができ、廃棄処理頭数が減少し、以前よりも安全な罾管理(見回り)ができるようになった。

また、暗視カメラの設置による罾の設置場所の移動により効率的な罾の設置が可能となり、鹿の捕獲頭数が、29年度は16頭であったが、本年度は19頭と3頭増加した。

### 【目標・ねらい】

- ① 見回りの負担減
- ② 廃棄処理頭数の減少
- ③ 罾設置場所の選定が可能となった。

### ※自己評価【B】

【理由】  
予定していた効果が得られた。

### 今後の取り組み

発信機・受信機の利用は、見回りの負担減と見回りの回数増により罾管理が効率的にできるようになったが、カメラの設置によるデータをもっと活用し捕獲頭数を増やすため、カメラの設置場所を罾設置個所に限定せずに設置をし、有害鳥獣の動向を調べ、ジビエを安定的に供給できるよう取り組んでいく。